

阪神・淡路大震災30年

横尾忠則の人生スゴロク展 Yokoo Tadanori's Game of Life

2025年1月17日(金)ー5月6日(火・振休)

開館時間 10:00ー18:00

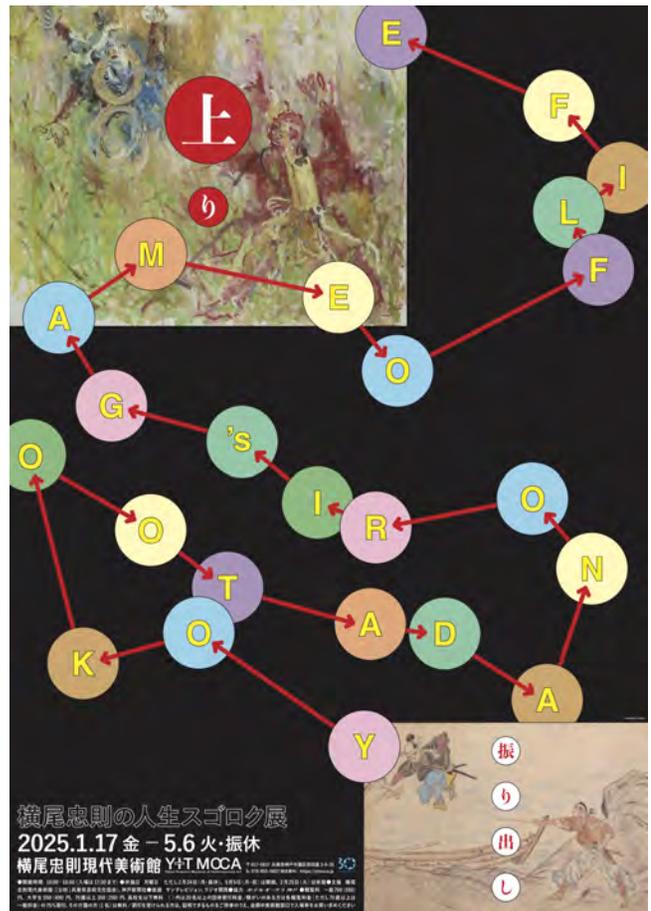
※ 入場は17:30まで

休館日 月曜日 ただし2月24日(月・振休)、5月5日(月・祝)は開館、2月25日(火)は休館

会場 横尾忠則現代美術館



阪神・淡路大震災30年
1995.1.17



ポスター(デザイン:横尾忠則)

展覧会について

展示空間をスゴロクに見立てた展覧会。

横尾忠則の波乱万丈の人生を、作品によって再構成しているのですが、無事「あたり」にたどり着けるかどうかは運任せ。

なすがままに運命を受け入れてきた横尾の生き方しながらに、楽しく遊びながらその作品に親しむことができる、前代未聞の企画展です。

※この展覧会では、

- ・普通に作品を鑑賞することも、
- ・スゴロクの要領で遊びながら鑑賞することも可能です

「人生スゴロク展」は 3F 展示室からスタートします。横尾忠則の誕生から思春期に至る故郷西脇で過ごした多感な時代を、主に当時の記憶やエピソードを題材とした絵画作品でたどります。そこには、後の「アーティスト」横尾忠則の芸術世界の原点がちりばめられています。



横尾忠則
《1936年、一人の男が真実の追求のために生まれた》
1988年
油彩、布・布
194.1×130.6cm
横尾忠則現代美術館蔵

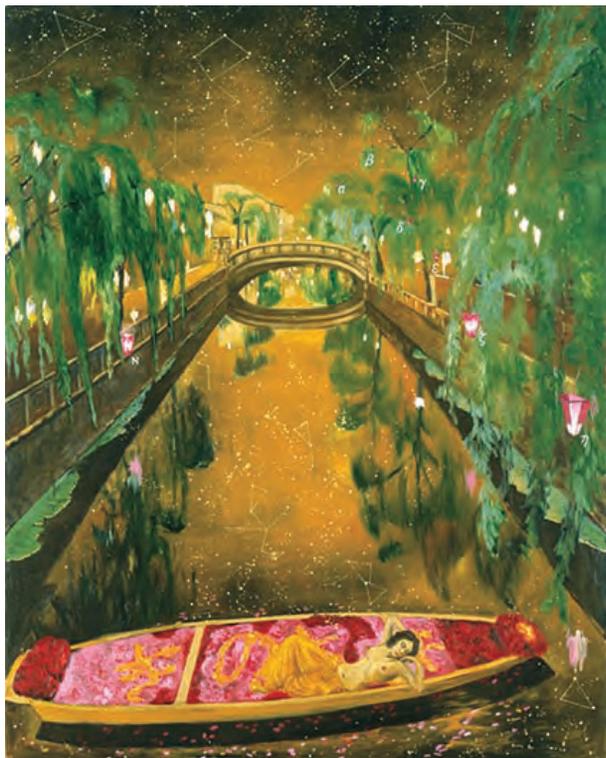


横尾忠則
《大入満員》
1994年
アクリル・布
182.2×227.3cm
横尾忠則現代美術館蔵



横尾忠則
《死の島でY氏の死の幻想を見たターザン》
2000年
油彩、コラージュ・布
162.2×130.7cm
横尾忠則現代美術館蔵

2F 展示室では、上京後の「アーティスト」横尾忠則の軌跡をたどります。異色の「グラフィック・デザイナー」として、社会現象を巻き起こした青年時代。横尾に影響を与えた人物たちとの出会いと別れ。画家宣言後の苦難の道程を経て、「画家」としての名声を確立するまでの波乱万丈の人生は、まさにスゴロクのように運命に翻弄されつつも、驚くほどドラマチックです。



横尾忠則
《城崎幻想》
2006年
油彩・布
227.3×181.8cm
横尾忠則現代美術館蔵



横尾忠則
《横尾忠則現代美術館(横尾忠則現代美術館)》
2012年
オフセット・紙
103.0×72.8cm
横尾忠則現代美術館蔵

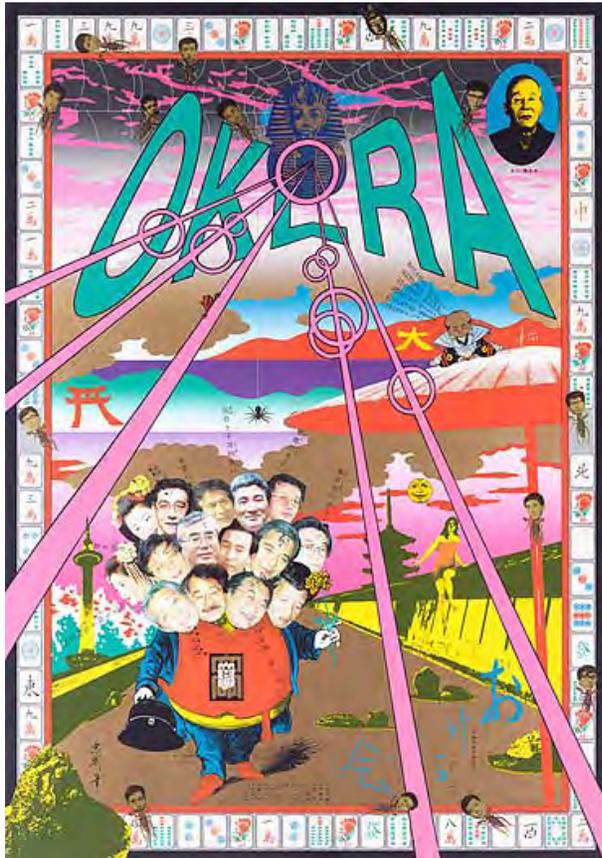


横尾忠則
《二刀流再び》
2021年
油彩・布
181.8×227.3cm
横尾忠則現代美術館蔵

4F コレクション・ギャラリーでは「人生スゴロク展」に関連して、スゴロク、花札、麻雀、百人一首、トランプ、ジグソーパズルなど「遊び」に関連した作品・資料などをご紹介します。

※出品点数：約 30 点

※観覧には「横尾忠則の人生スゴロク展」チケットが必要です



横尾忠則
《おけら会(おけら会)》
1997年
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8cm
横尾忠則現代美術館蔵



横尾忠則
《続ジョン・シルバー(劇団状況劇場)》
1968年
シルクスクリーン・紙
102.5×74.0cm
横尾忠則現代美術館蔵

1F オープン・スタジオでは、阪神・淡路大震災から30年を迎えるのを機にコーナー展示「Yokoo 1995」を行います。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災により、変わり果てた神戸の様子は、横尾に大きな衝撃を与えました。やがて横尾は、被災地を元気づける展覧会に参加し、あるいは自らチャリティー・ポスターを企画するなど、アーティストの立場から震災復興に尽力しました。ここでは、当時の横尾の活動を伝える作品を出力（パネル）で紹介しします（オリジナルは2Fに展示されています）。

※出品点数：5点(出力)

※観覧無料



横尾忠則
《阪神・淡路大震災復興支援のためのポスター展
(HYOGO AID '95 実行委員会)》
1995年
オフセット・紙
103.0×72.8cm
横尾忠則現代美術館蔵



横尾忠則
《Hyogo Aid '95 by Art (Hyogo Aid '95実行委員会)》
1995年
オフセット・紙
83.7×59.4 cm
横尾忠則現代美術館蔵

遊び方

この展覧会では、

- ・ 普通に作品を鑑賞することも、
- ・ スゴロクの要領で遊びながら鑑賞することも可能です
- ・ 他のお客様の邪魔にならないよう、譲りあって鑑賞しましょう
- ・ ルーレットは優しく回してください
- ・ スマホをお持ちの方は、web サイコロもご利用いただけます
- ・ 作品にはお手などを触れないようご注意ください
- ・ 写真撮影 OK ですが、動画撮影・ストロボ・自撮り棒の使用はご遠慮ください



関連イベント

キュレーターズ・トーク

担当学芸員が本展の見どころを分かりやすく解説します

日 時:2月15日(土)、3月15日(土)、4月19日(土) いずれも14:00—14:45

会 場:当館オープンスタジオ

講 師:当館学芸員

参加費:無料

※イベントの詳細や、その他のイベント情報については当館ウェブサイトをご覧ください

相互割引

- ・兵庫県立美術館(特別展またはコレクション展)のチケット半券→当館企画展が団体割引料金に
 - ・当館企画展のチケット半券→兵庫県立美術館(特別展またはコレクション展)が団体割引料金に
- ※会期中のチケット半券に限り有効

基本情報

阪神・淡路大震災30年
横尾忠則の人生スゴロク展
Yokoo Tadanori's Game of Life



2025年1月17日(金)―5月6日(火・振休)

開館時間 10:00―18:00 ※入場は17:30まで

休館日 月曜日 ただし2月24日(月・振休)、5月5日(月・祝)は開館、2月25日(火)は休館

主催 横尾忠則現代美術館([公財]兵庫県芸術文化協会)、神戸新聞社

後援 サンテレビジョン、ラジオ関西

協力 **ホテルオークラ 神戸**

観覧料 一般700(550)円、大学生550(400)円、70歳以上350(250)円、
高校生以下無料

- ・ ()内は20名以上の団体割引料金
- ・ 障がいのある方は各観覧料金(ただし70歳以上は一般料金)の75%割引、その介護の方(1名)は無料
- ・ 割引を受けられる方は、証明できるものをご持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください

出品点数 約70点 2～3F (人生スゴロク展)

約30点 4F (コレクション・ギャラリー)

5点(出力) 1F (オープン・スタジオ)

※状況に応じて予定が変更になる場合があります。最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください

お問合せ

横尾忠則現代美術館

〒657-0837 兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30
tel. 078-855-5607(総合案内) fax. 078-806-3888
学芸担当: 山本淳夫<yamamoto_atsuo@ytmoca.jp>
広報担当: 早水千尋<hayamizu_chihiro@ytmoca.jp>

画像データは当館ホームページ(<https://ytmoca.jp>)のプレス専用ページからお申込みいただけます
ホームページに掲載されていない画像は、上記連絡先までご請求ください

Yokoo Tadanori Museum of
Contemporary Art
Y+T MOCA
横尾忠則現代美術館